

2020年9月15日～2023年6月30日の間に 当科において白内障手術を受けられた方及びご家族の方へ

「前眼部光干渉断層計と光学式眼軸長測定装置から算出される眼内レンズ度数の比較」 へのご協力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	尾崎加奈
研究分担者	川崎医科大学附属病院	眼科	主任	春石和子
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	山下力
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	荒木俊介
	川崎医科大学	眼科学1	准教授	家木良彰
	川崎医科大学	眼科学1	教授	三木淳司
	川崎医科大学	眼科学1	教授	桐生純一

1. 研究の概要

白内障術前検査において、眼内レンズ度数を計算するためには角膜形状情報（角膜屈折力、前房深度、水晶体厚）と眼軸長の測定が必須です。当院では、前眼部光干渉断層計（CASIA2）で得られた角膜形状情報に光学式眼軸長測定装置（OA-2000）で得られた眼軸長データを併用して眼内レンズ度数を算出していますが、2機種を併用することの有用性は検討されておりません。本研究ではOA-2000単機で算出された眼内レンズ度数と2機種を併用した眼内レンズ度数を比較することでその有用性を検討したいと考えております。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年9月15日～2023年6月30日の間に川崎医科大学附属病院眼科において白内障手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において白内障手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを抽出し、眼内レンズ度数の比較を行うことで2機種を併用することの有用性に関する分析を行います。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、既往歴、現病歴、視力検査、屈折検査、前眼部画像検査、眼軸長検査、眼内レンズ度数 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院眼科外来内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 眼科

氏名：尾崎 加奈

電話：086-462-1111 内線 24647（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：k.ozaki@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。